

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月29日	作成者名	後藤 英明	評価者名	櫻井 聡
-----	-------------	------	-------	------	------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	07 人が集い心ふれあうまち	中心となる課	市民生活部・協働推進課
分野	01 協働	関係課	
施策	72 地域コミュニティの活性化		
施策の目的	より住みやすいまちとするため、地域の様々な課題について、市民自らが共に考え、共に解決していく社会の実現を目指します。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	町会・自治会活動支援事業
取り組み②	市民交流事業
取り組み③	地域コミュニティ推進事業
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
地区コミュニティ協議会数	コミュニティ協議会の設立数	団体	2	1	1	1	1	1	
戸田ふるさと祭り来場者数	戸田ふるさと祭りが行われる2日間の来場者数	人	75,000	70,000	40,000	30,000	40,000	65,000	
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	現在、市内の地域コミュニティについては、既存の町会・自治会を中心として形成されているが、町会・自治会において、加入率の減少や、担い手の高齢化などの課題があり、地域コミュニティが活性化しにくい状況である。また、町会・自治会の他にも様々なコミュニティ関連組織、市民活動団体等が存在し、地域において活動をしているが、相互の連絡体系が明確に整備されていないという課題があり、広域の地域コミュニティ組織の形成にまで至っていない。	対応策	まずは町会連合会を中心に、町会・自治会の加入促進や負担軽減に取り組み、活動の活発化へ向け支援していく。更に、町会・自治会を含めた地域で活動している様々な組織等が、相互に連携・協力することにより、「地域コミュニティ推進計画」に基づく、地区コミュニティ協議会の設置を促すことができるため、継続的に働きかけていく。コミュニティ施設では地域の意見を聞きながら、コミュニティ活動がより活性化されるように運営を工夫していく。併せて、戸田ふるさと祭りや市民憲章など、地域への愛着を促すための事業を実施していく。
----	---	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	地区コミュニティ協議会の設置が進んでおらず、遅れ気味の状況である。町会・自治会の活動の活発化や、地区コミュニティとの連携によるより効果・効率的な施設運営への支援は引き続き実施しており、地区コミュニティ協議会は、それぞれの地区の状況に応じて支援している。ふるさと祭りや市民憲章は、市民による委員会により企画運営している。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	コミュニティ協議会設立は、地域の状況を把握し、最適なタイミングで取り組む必要がある。また、町会加入の促進や町会活動の支援、ふるさと祭り、施設の管理運営などは、随時見直しながら実施していく必要がある。地域コミュニティの活性化に向け、人員・予算とも現状維持ながらも工夫して取り組みたい。

(評価者コメント)

地区コミュニティ協議会の設置により、地域コミュニティが活性化すると考えるため、その組織の中心となりうる町会・自治会の活動を活発化させる支援に取り組むことが重要である。地域で活動している市民活動団体等との連携・協力により、活発な町会活動を行い、市民の地元地域への愛着意識を高めていく。地域における意識の高まりを前提に、地区コミュニティ協議会の組織化に向けた支援について工夫を行い、引き続き、多くの市民が積極的に地域にかかわる活気ある地域づくりに取り組んでいく。

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月29日	作成者名	後藤 英明	評価者名	櫻井 聡
-----	-------------	------	-------	------	------

5. 事務事業の検討 【一般会計】

(単位：千円)

大 事 業	中 事 業	事務事業名		事務事業評価の結果								★事務事業の方向性			R 3 予 算 額	事業費 うち 一般財源			
		事業 区 分	R 3 計 画 額	R1決算額		評価結果						事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 内 優 先 度			コメント		
				R2予算額	事業費	事業 の 方 向 性	実 施 計 画 候 補	施 策 へ の 貢 献 度	経 費 水 準	事 業 手 法	受 益 ・ 負 担 の 公 平 性								
																		うち一般財源	人件費
事業内容																			
01 市民交流事業 (協働推進課)																			
		市民交流事業		9,488												より魅力ある祭りとなるよう開催内容や実施体制を検討していく。	18,370		
01		01	02	01	13	01	01	任意	19,084	1	○	B	B	C	B		1	○	B
戸田ふるさと祭りは、戸田ふるさと祭り実行委員会を中心				18,370													18,367		
戸田ふるさと祭り実行委員会を中心				18,366															
				8,628															
02 協働推進事業 (協働推進課)																			
		地域コミュニティ推進事業		2,523												地域コミュニティ活動の充実・強化につながるため、推進していく。	55,188		
02		01	02	01	13	02	02	任意	7,200	4	○	B	B	B	B		4	○	A
行政と市民との協働によって策定された「地域コミュニテ				53,661													52,075		
地域コミュニティ推進事業				46,161															
				1,301															
		町会・自治会活動支援事業		43,005												地域コミュニティの中心となっている町会・自治会の活動の活発化へ向けた支援が重要となる。	0		
88		01	02	01	13	02	88	任意	50,834	8	○	B	B	B	B		8	○	A
町会・自治会活動が円滑に行えるよう、町会・自治会加入				0													0		
町会・自治会活動が円滑に行えるよう、町会・自治会加入				△613															
				12,669															
01 市民憲章推進事業 (協働推進課)																			
		市民憲章推進事業		1,355												継続的な啓発活動が必要だが、実施内容については、随時見直ししていく必要がある。	1,329		
01		01	02	01	15	01	01	任意	1,398	1		B	B	B	B		1		C
戸田市民憲章の主文として掲				1,329													1,329		
げている5項目の日常にお				1,329															
				1,712															
01 笹目コミュニティセンター管理運営費 (協働推進課)																			
		笹目コミュニティセンター管理運営費		75,829												地域コミュニティ活性化の拠点として、適切に運営していく。	67,200		
01		01	02	01	19	01	01	任意	87,735	1		A	A	B	B		1		B
指定管理者である笹目コミュニ				67,764													67,149		
ティ協議会による、センタ				67,713															
				1,233															
02 新曽南多世代交流館管理運営事業 (協働推進課)																			
		新曽南多世代交流館管理運営事業		51,818												地域コミュニティ活性化の拠点として、適切に運営していく。	61,857		
01		01	02	01	19	02	01	任意	61,500	1		B	B	B	B		1		B
指定管理者制度の導入により				61,857													60,231		
、より多くの市民に施設を活				60,236															
				1,233															
計 (千円)																			
				事業費	184,018	R1決算額		227,751	R2予算額		202,981	R3計画額		R3予算額					
				うち一般財源	181,508			218,362			193,192								

事業の方向性： 1 現状で継続 2 拡大して継続 3 縮小して継続 4 他事業と統合 5 休止 6 その他見直し
 7 令和3年度で終了 8 令和2年度で終了 9 令和元年度で終了